

2020年9月14日

各位

会社名 株式会社タカラレーベン
 代表者名 代表取締役 島田 和一
 (コード番号 8897 東証第一部)
 問合せ先 社長室 長 鈴木 健介
 (TEL 03-6551-2130)

連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年5月25日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	136,800	6,000	5,000	3,400	31.36
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	168,493	11,901	11,201	5,361	49.45

(2) 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社の業績に与える影響について適切かつ合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、経済活動が徐々に再開していることから、現時点で入手可能な情報に基づき、公表することといたしました。

コア事業である新築分譲マンション事業においては、緊急事態宣言中には、各エリアのモデルルームはクローズしておりました。宣言解除後、営業活動を再開しておりますが、モデルルームへのご来場者数は、新型コロナウイルス感染拡大前の状態に戻りつつあり、お客様の購買姿勢にも大きな変化

はみられておりません。2021年3月期の通期引渡戸数は、1,980戸（JV戸数を除いた場合は1,850戸）を予定しております。また、8月末時点で、約83%の契約進捗となっております。

なお、業績予想の算定においては、再度の緊急事態宣言の発令など大規模な経済活動の停滞については想定しておらず、今後の感染症の広がりや収束時期によって変動する可能性があります。当社の業績に関し開示すべき重要な事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	—	4.00	—	8.00	12.00
当期実績	—				
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	6.00	—	13.00	19.00

(2) 配当予想の理由

当社は利益還元を会社の最重要課題の一つとして位置付けており、事業展開と経営基盤の強化に必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた適正な配当を安定的かつ継続的に行うことと、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。また、2018年5月に策定した中期経営計画において、配当性向を25%～30%程度とすることを掲げております。

2021年3月期の配当予想につきましては、2021年3月期の業績予想が未定であったことから、同じく未定としておりましたが、公表した業績予想及び上記方針に基づき、中間配当金として1株当たり4円、期末配当金として1株当たり8円とし、年間配当金12円を予定しております。また、配当性向は38.3%を予定しております。

以 上